

桐光会へのお礼メッセージ(2023 年度秋学期)

#1

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。昨年父が勤務中に交通事故に遭い、1年間収入がなくなりました。双子で看護学科に在籍しているため学費が2倍かかり、高校生の弟もいるため経済的に厳しい状況でした。また、看護師国家試験を控えていることもあり、アルバイトができず学費への不安を抱えていましたが、奨学金の支援を頂けたことで、安心して国家試験に向けて勉学に励むことが出来ます。これからもご支援してくださった桐光会の皆様に感謝の気持ちを忘れず、残り少ない学校生活を謳歌したいと思います。ありがとうございました。

看護学科 奨学生本人

#2

この度は、桐光会奨学生に採用していただきまして誠にありがとうございます。大変嬉しく思っております。父の病の悪化により、生活費のほかに入所施設費や医療費等がかかり、学費の支払いが困難な状況になりました。しかし、母はどんな状況下になっても、私の為に自分自身で様々な負担を背負い私の歯科衛生士になるという将来の夢を支えてくれています。この度、桐光会奨学金の給付を受けられることで少しでも母への負担が減ると思い安堵の気持ちでいっぱいです。また、私自身もアルバイトへ費やす時間の減少も考えられ、経済的な不安なく学業に専念することが出来ます。桐光会奨学金に携わる方々のおかげで明るい未来への一步を踏み出せます。このご恩と感謝を忘れずに、また将来母に恩を返す為にもより一層精進して参りたいと思います。この度は桐光会の皆様、誠にありがとうございます。

歯科衛生学科 奨学生本人

#3

この度は桐光会奨学金に採用して頂き心より感謝申し上げます。私の家庭はひとり親家庭であり、母の収入と日本奨学金支援機構の奨学金を満額お借りし、大学の費用に充てておりました。そのような状況で、常に経済的な不安を抱えていましたが、桐光会奨学金のご支援により、精神面、経済面での負担が軽減されました。今後は誠心誠意ご恩に報えるよう、国家試験に向けてより一層勉学に励んで参ります。そして多くの人を支えていける看護師になれるよう努めてまいります。改めて桐光会の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

看護学科 奨学生本人

#4

この度は桐光会修学支援奨学金に採用していただきありがとうございます。私の家庭は父の収入で生活しており、難病に罹患した母の療費もかかっています。父の収入だけでは学費を支払うことが難しく、日本学生支援機構の奨学金と私自身のアルバイト代で支払っていましたが、就職活動や学業の都合からアルバイトを増やすことは難しく経済的に苦しい状況でした。今回採用していただいたことで、看護師国

家試験に向けてより一層勉学に励んでいきます。また、残りの学生生活も有意義な時間となるよう日々精進して参ります。ご支援いただいた桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

看護学科 奨学生本人

#5

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私には小学生と高校生2名、計3名の弟がいるため、両親の収入だけでは学費を賄うことが厳しい状況が続いていました。日本学生支援機構の奨学金を併用貸与しているほか、アルバイトもしています。しかし、実習やテスト、課題などにより思うようにアルバイトできず、大学に通い続けられるのか不安に思っていました。不安が軽減されました。私は現在2年生で、半年後には本実習が控えており、今以上に大変になると思いますが、採用してくださった方々へ感謝の気持ちを忘れず、学業に励み、自分のなりたい看護師像を描いていけよう努力していきたいと思えます。最後になりますが、桐光会の皆様に心より感謝申し上げます。

看護学科 奨学生本人

#6

この度は桐光会奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。私の家は父母と弟2人の5人家族です。母は家事、育児、祖父母の介護をしながら家計のために近所で働いています。弟が私立高校に通うことになってしまったため、学費が高く、子供3人の教育費は両親に負担をかけています。今回奨学金をいただくことができ、物価、食費高騰の現状を補うことができ、実習にかかる交通費などにも役立てることが出来ます。アルバイトの時間も少し減らすことができ、学業と向き合う時間をもつことができます。残り少ない学生生活ですが、これから国家試験が待っています。悔いのないよう、必ず合格できるように志高く精一杯取り組んでいきます。卒業後は支えてくださった皆様への感謝の気持ちを忘れず、学んだことを活かして、さらに精進し、社会人として恥じることをないように努めていこうと思えます。優れた歯科衛生士になり社会に貢献していきます。心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

歯科衛生学科 奨学生本人

#7

この度は、桐光会奨学金をいただきまして、誠にありがとうございます。桐光会奨学金の給付があったことで、経済的な不安がなく大学4年最後の学業へ専念することができております。貴会のご支援のお陰様で、卒業に向け卒業研究の勉学に打ち込める環境を得ることができました。こうしてつつがなく希望の学業を修め、大学生活を送られることになったことを、両親が聞きとても安心して見守ってくれています。家族一同感謝の気持ちでおります。今後は、卒業と就職に向け精一杯取り組んで行きたいと思えます。卒業後、新たな人生の一步を踏み出しますが、こうして私を支えて下さった皆様へのご恩と感謝を忘れず、桐光会奨学金を受けた者として恥ずかしくないよう、より一層精進して参りたいと思えます。

メディア学科 奨学生本人

#8

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。父が勤務していた整形外科は院長が高齢のため閉院することとなり、父は職を失ってしまいました。年齢などの影響もあり、再就職が難しく学費の支払いも困難になりました。私も勉強や実習で忙しくなりアルバイトで学費を賄うことは難しいと判断しました。私にはどんな年齢層の方にも頼られ、尊敬される理学療法士になりたいという夢があります。そのため、この感謝の気持ちを忘れずにこれからの大学生活、しっかりと勉強に励みたいと考えております。皆さまの期待に応えられるようより一層精進してまいりたいと思います。

理学療法学科 奨学生本人

#9

今年の3月から父親が病気にかかり、現在休職中であるため、学費の負担を軽減できるよう桐光会奨学金を申請させていただきました。今後も、より一層勉強に励み、充実した学生生活を送れるように頑張りたいと思います。大学生活にも十分慣れてきたなかで、奨学金に採用していただいた自覚を持ち、再度気を締め直し、今まで以上に有意義な大学生活を送っていきたいと考えております。大学卒業後は、児童福祉に携わる仕事に就きたいと考えており、児童相談所や児童養護施設、学童保育等を視野に入れております。今夏に児童養護施設へ実習に行き、実際の現場をみることでできたため、今まで以上に自分の進路について考えるきっかけとなりました。この度は奨学金を採用していただき、ありがとうございました。現在3年生で今後の進路についても考えていく大切な時期であるため、奨学金によってこれからも安心して学業に専念できると思います。本当にありがとうございました。

人間福祉学科 奨学生本人

#10

この度は、桐光会の奨学生に採用していただきまして、誠にありがとうございました。心から感謝しております。私の家庭は母子家庭で、現在弟も私学に通っているため、母親の収入だけでは経済的に余裕がありません。私はアルバイトをしています。今以上に働くと勉強に支障が出ると思いました。そのため、経済的な不安なく学生生活を送るために奨学金を申請いたしました。桐光会の奨学金のご支援のおかげで、学費の支払いにあてることができ、経済的にも時間的にも余裕ができました。今後は勉強を第一にアルバイトやサークルとも両立をして充実した学生生活を送れると思います。これからは、より一層勉強に励んでいきたいと思っております。また、夢であった大学進学を叶えてくれた母親にもお礼ができたと思います。私はSDGsへの取り組みに強い関心があるため、将来は目白大学で学んだことを活かして、SDGsへの取り組みを積極的に行なっている企業に就職し、社会貢献していきたいと思っております。

地域社会学科 奨学生本人

#11

この度は、応急支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。令和5年3月に父親が急死し、父親の事業の整理やお葬式などに多大な費用を要しました。

また、妹2人の進学なども重なる時期でもあったため、残り1年間の私の学費を工面するにも厳しい状況でした。私が留学中でもあったためアルバイトを休職しており、約3ヶ月間は父親の事業整理に時間を取られており、収入が無かったため次の学費に残しておいた奨学金から生活費を出すがありませんでした。母親の収入だけでは私達姉妹3人を養うには足りず、今後の金銭面に不安を抱えていました。この度桐光会応急支援奨学金に採用していただいたことで、夢であったグランドスタッフとして成田空港で働くための1人暮らしの初期費用に充てるお金に少し余裕ができました。長女として母親にはできるだけ迷惑をかけたくないという思いが強いので、これで安心して就職準備に取り組みます。残り秋学期間、一生懸命勉学に取り組み、就職後は目白大学の卒業生として人一倍努力を続け完璧な韓国語を活かして頑張ります。

韓国語学科 奨学生本人

#12

この度、目白大学の桐光会奨学金を申請した理由としましては、私の父の病気による医療費がかかるためです。父は12年ほど前からキャスルマン病と悪性リンパ腫の治療及び通院中となりました。2020年に腎癌と多発骨転移と診断され、化学療法や放射線治療を経て、現在は緩和治療中です。病勢が進行しており、医師からは終末期であり余命は数ヶ月と診断されているため、就労は困難な状況です。今後の緩和ケア代に経費がかかり、学費の支払いが困難なため桐光会奨学金を申請致しました。桐光会奨学金の採用を受け、目白大学で4年間の学びを継続するが可能となりました。今後は、自身の学科での学びをより充実させ、4年次の卒業研究及び就職活動に向けた準備に励みたいと考えております。また、お世話になるケアセンターの方々や主治医の先生と協力し、父の緩和ケアを引き続き支えていきたいと考えております。卒業後の進路としましては、現在食品業界への就職を希望しております。幼い頃から食べている製菓メーカーの企業で企画をしたいと考え、そのためのインターンシップの参加や企業研究を進めております。改めまして、この度は目白大学の桐光会奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。

韓国語学科 奨学生本人

#13

この度は桐光会奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。私は現在、日本学生支援機構の奨学金を借りていますが、父の自営業収入が資材、燃料費の高騰により減収してしまったことや、母の首のヘルニアによる退職等により、学費の支払いが難しく申請いたしました。今まで学費を少しでも捻出するために多くの時間をアルバイトに費やしていましたが、採用されたことでこれまでより減らし、卒業論文の研究、作成に時間を充てしっかりと取り組むことができるようになります。奨学金をいただいたことで自分の心にも少し余裕ができ、日々を楽しく充実させ、学びたい学問を深めることができます。今年度で最後になる学生生活を、勉学と友人、家族との時間を大切に皆様からのご厚意を忘れずに過ごしていきたいと考えております。来年度からは新社会人として、活躍していける自立した大人になり、社会や企業に貢献して参ります。

ビジネス社会学科 奨学生本人

#14

このたびは、桐光会修学支援奨学金を採用いただきましてありがとうございます。私の家は母子家庭ということで、学費や通学費、その他の費用は日本学生支援機構から、借り入れている多額の奨学金と日々のアルバイト代でまかなっている状況でした。そのため、大学4年生の後半は、卒業後の負担を少しでも減らすため、アルバイトにあけくれる日々でした。しかし、このたび桐光会奨学金に採用いただいたことで、残りの大学生活では卒業後に向けた勉強や先生との意見交換、ゼミ活動に集中して取り組むことができます。卒業後、私はエンジニアになりIT産業を支え、また社会に貢献できるような人材になれるように頑張ります。最後に、このたび桐光会の奨学金に採用いただきまして本当にありがとうございました。目白大学で学んだことを活かし、この先の進路でも頑張っていこうと思います。

経営学科 奨学生本人

#15

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。生計維持者である父の交通事故により大幅に収入が減少し、私自身も国家試験勉強のため、アルバイトを中止したことから今回奨学金を申請いたしました。採用してくださった皆様に深く御礼申し上げます。現在4年生で病院から内定もいただいているため、国家試験合格に向けて勉学に励み、目白大学で学んだ看護を将来活かすことができるよう、さらに看護を深めていきたいと考えております。改めまして、この度はありがとうございました。

看護学科 奨学生本人

#16

この度は桐光会修学支援奨学金に採用していただき、ありがとうございました。桐光会の皆様のおかげで無事に在籍を続け、残り3ヶ月ほどの大学生活を送ることができるようになりました。就職活動により本人の収入が少なく、経済状況が厳しいことが申請理由でした。今回採用していただけたことで、安心して学業に専念することができます。また桐光会奨学金の採用が今回で2回目ということで、前回に引き続き採用していただけたこと、心より感謝申し上げます。また児童養護施設で児童指導員としての就職も決まっているため、4月からは社会人として頑張っていきたいと思います。それまで、残り短い大学生活ではありますが、楽しみながらも慢心せず日々を過ごしていこうと考えています。改めて、この度は桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。

人間福祉学科 奨学生本人

#17

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございました。コロナウイルスの影響による父の失業に加え、病気が見つかり手術をすることになりました。現在は日本学生支援機構の奨学金を借りていますが、母のパートの収入だけでは生活費や学費を賄うことが厳しい状況が続いていました。私自身も就職活動や学業に専念するため、アルバイトの日数が減り不安を抱えていましたが、今回の採用により、経済的な負担が軽減しました。残り少ない学生生活ではありますが、今後も国家試験に合格できるようより一層勉学に励み、立派な作業療法士に

なれるよう精進していきたいと思っております。最後になりますが、ご支援いただいた桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

作業療法学科 奨学生本人

#18

私の両親は離婚しており、経済的に困難な状況な中で、第2人の受験や自分の留学が重なり、学費の支払いだけでなく生活をすることも苦しくなりました。そこで桐光会奨学金を知り、採用していただけることになりました。将来の仕事や夢のために必要なことが学べると思い目白大学を選び、入学しました。そして留学も決意しましたが、今まで貯めていたアルバイト代は留学先での生活で枯渇しつつあり、3年生を目前にして退学することも考えるようになりました。しかし、退学することは大変後悔の残る選択と思い、万難を排して卒業したいため桐光会奨学金の支援を希望しました。無事に学費を支払いすることができたため、退学せずに3年生になっても自分の学びたいことを目白大学で学び続けることができそうです。桐光会奨学金を受けた者として恥ずかしいことがないように、より一層精進して参ります。今回、支援して下さった桐光会の皆様、そして業務に携わって下さった全ての皆様に心よりお礼を申し上げます。家族も大学生活の継続を喜んでおり、感謝の気持ちが増しております。この度は本当にありがとうございました。

韓国語学科 奨学生本人

#19

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。今回、両親が離婚することとなり、家庭の環境が大きく変化した中、学費を支払えるか不安を抱えておりました。アルバイトも思うように入れず、経済的に厳しい状況でしたが、奨学金をいただいたことで経済的負担のみならず、精神的負担も軽減されました。貴会のお陰様で勉学に打ち込める環境を得ることができました。現在、私は4年生で卒業研究に励んでおります。残りの大学生活に集中することができ、感謝の気持ちで一杯です。大学に通うことができるのは、当たり前ではなく、誰かの支えがあってこそ成り立っていると改めて感じました。卒業後もご支援いただいた貴会の皆様へのご恩と感謝の気持ちは一生忘れません。今度は私自身が誰かの支えになり、困っている人に手を差し伸べられるよう、そして社会に貢献できるように日々努力していく所存です。また、立派な社会人として自立できるように、より一層の努力をして参ります。この度は誠にありがとうございました。

経営学科 奨学生本人

#20

桐光会奨学金を申請した理由は、弟妹が多く家庭の経済状況が厳しいことが理由です。そのため、桐光会の方々によるご支援により、私は学業に集中することができ、両親に負担をかけずに済んだため経済的状況は改善されました。今後の学生生活は残り少ないですが、自分にとって有意義な時間を過ごしていきたいです。また、卒業論文に集中することができ自らの成長をすることができました。これからも桐光会の方々にご期待を添えるように精一杯努力し成果を上げていく所存でございます。将来、社会に貢献できるような人材として精進していきたいです。

社会情報学科 奨学生本人

#21

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただきまして、誠にありがとうございます。私には来年度中学、高校、大学に入学する弟が3名おり、自身も進級するため来年以降、更に学費や教材費等がかさむ状況でした。両親になるべく頼らないよう一部教材費や交通費、携帯代などを支払うためアルバイトをしていました。その一方で、学業や就職活動に専念したいという思いがありアルバイトを控えたいとも考えておりました。桐光会奨学金を給付していただいたお陰で不安が減り、より一層学業や就職活動に専念することができました。私は将来、社会に貢献できる仕事に就きたいと考えており、大学卒業と国家試験合格を目標に日々生活しております。今後は、今まで以上に様々なことに意欲的に取り組み、学びのある学生生活にしていきたいです。また、大学生活も半分を切り、卒業に近づいている現在ですが、一度きりの大学生活を悔いのいよう日々精進していきたいと思っております。

看護学科 奨学生本人

#22

私が桐光会奨学金を申請した理由は、二つあります。第一に、実習で忙しく、アルバイトができなかったからです。私は教師になりたい夢があり、一年間実習ができる東京教師養成塾に入りました。アルバイトに時間を費やすことも難しくなり、自分で学費を準備するのが難しくなりました。第二に、家計の出費が多くなったからです。兄が躁うつ病になり、今年の4月に仕事を辞め、実家に戻ってきました。正社員ではなくなった兄は、家にお金を入れることもできない上に、食費などが多くかかり、家族からの学費の支援がより一層難しくなりました。しかし、今回採用していただき、学費の心配がなくなりました。母からも「本当に良かった」と安堵の声がありました。今後の学生生活として、最後の学生生活を謳歌しながら、卒論などやるべきことを行っていきます。また、これからもボランティアとして実習先に通いながら、「自分が教師だったらどうするか」と学級経営や授業を勉強していきます。また様々な行事に参加をし、教師の働き掛けを学生のときから知り、自分が教師になったときに活かしていきます。私は、大学卒業後、小学校教員となり「人に寄りそえる教師」を目指しています。私が色んな人に支えられて生きていたため、児童に対してだけでなく、保護者や同僚にも寄りそって、一緒に問題を解決し、感情を共有する教師になります。私は大学二年生も桐光会の奨学金にお世話になりました。無事に卒業をできそうです。本当にありがとうございます。

児童教育学科 奨学生本人

#23

この度は、桐光会奨学金を採用していただき誠に有難うございます。私が大学に入学してから両親が離婚し、弟の大学進学も重なってしまい、卒業まで大学に通い続ける事ができるか非常に不安でした。貴会のご支援のお陰で卒業の見通しが立ち、感謝の気持ちでおります。今後は、子どもに関する勉学に集中したいと思います。また幼稚園の就職も決まり、夢であった子どもと関わる仕事につける事になりました。大学4年間で学んだ事を活かして自分らしく頑張りたいと思います。

子ども学科 奨学生本人